

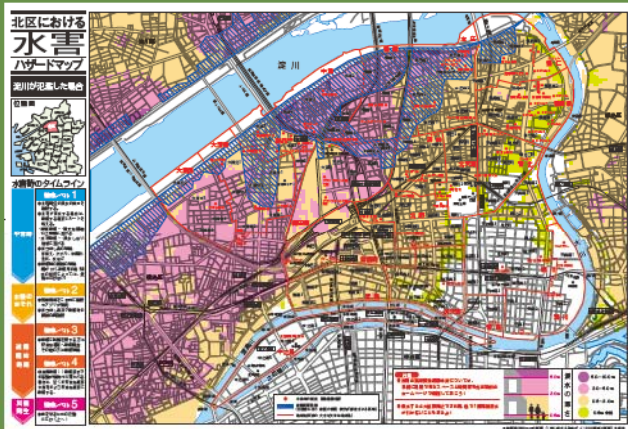
今から できる 防災

都心中の都心である北区でも、台風や豪雨は毎年あるものだと考え、日ごろから防災を意識することが大切です。ハザードマップの確認や情報収集ツールの入手など、今からできることを、「大阪北区ジシン本」サポーターの4人の皆さんに聞きました。

1 ハザードマップを確認しよう

北区を襲う大規模な水害（淀川氾濫、内水氾濫、高潮、津波）の違いを理解しておきましょう。その上で、北区のほぼ全域が浸水する淀川氾濫の浸水想定を巻末のハザードマップで確認し、自分の住む場所がどの程度浸水するのか理解しておきましょう。

（和彦さん）



アウトドアグッズで楽しく防災！

キャンプで使用できるグッズは防災グッズとしても大活躍。LEDランタンやヘッドライト、折りたたみ式コンロなど、防災のためだけではなくアウトドアでも使用するため、楽しく備えることができます。



100均ショップでお役立ちグッズを発見！

防災専用のグッズは価格が高くてハードルが高い…。それなら100円均一ショップで防災グッズを探してみてもいいか？日用品から食品まで多彩にあるので、誰でも気軽に買い揃えられますよ。



2

ローリングストック法を実践！

賞味期限切れ、味が好みでないなどを防ぐために、防災食は普段から消費できる物を選び、その都度買い足す「ローリングストック」がオススメです。

（直子さん）



3

マンション特有の課題を知っておこう

マンションでは、停電によるトラブルだけでなく、「バルコニーの排水溝が詰まって室内に浸水」「地下駐車場などに大量の雨水が流れ込み、車両が水没」などの問題が発生する恐れもあります。マンションならではの課題への対策を、居住者同士で事前に確認しておきましょう。

（啓正さん）



4

正しい情報をキャッチしよう

気象情報をチェックする習慣を身に付けておくと、台風のほか大雨情報の正しい見方がわかり、日常生活でも役立ちます。台風直前はテレビやラジオからの情報を常に確認し、適切な行動をとりましょう。

「大阪市防災アプリ」「NHKニュース・防災アプリ」などのアプリをスマートフォンにダウンロードしておくこと便利です。

（寛文さん）

■大阪市防災アプリ



■NHKニュース・防災アプリ

